

異分野融合セミナー

Transdisciplinary Research Seminar

依存性物質：蔓延の現状と基礎知識

富山 健一 先生

Kenichi TOMIYAMA Ph.D.

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所薬物依存研究部
依存性薬物研究室長



- 開催日時：2024年2月16日（金）16:00-17:00
- 会場：自然科学本館210講義室（どなたでもご参加できます）

薬物乱用は、依存性物質という薬物と薬物を使用する人（または環境）が相互に作用することで引きこされる多面的かつ複雑な健康問題です。また、薬物乱用を繰り返すことで、薬物依存という状態にいたる場合もあります。わが国で問題となる依存性物質は、嗜好品であるアルコールやタバコ、覚せい剤・大麻などの規制薬物、オピオイドなどの医療用麻薬、最近では大麻グミと称する危険ドラッグやオーバードーズで注目されている一部の市販薬などが該当します。これらの薬物はそれぞれ薬理作用が異なっており、薬物乱用の理解を複雑にしています。今回のセミナーでは、乱用と依存の原因となる代表的な依存性物質について、我々が行なっている薬理学的評価のデータも含め解説します。

本セミナーを通じて、薬物依存の世界に興味・関心を持っていただけると幸いです。

問い合わせ先：

小川数馬, 創薬分子プローブ研究ユニット, kogawa@p.kanazawa-u.ac.jp

羽澤勝治, セルバイオノミクスユニット, mhazawa@staff.Kanazawa-u.ac.jp